

大会名 Competition	ウインターカップ2018 秋田県予選会 女子決勝
No. M-1	Year Month Day Time 2018 年 10 月 28 日 12 : 30
場所 Place	横手市増田体育館



秋田県高等学校体育連盟  
バスケットボール専門部

主審:Referee 佐藤 匠  
副審:1stUmpire 石垣 千彩  
副審:2ndUmpire 山田 知慧  
テーブルオフィシャル:Table officials  
湯沢高校男子バスケットボール部

チームA 湯沢翔北 109 ○	<table border="1"> <tr><td>29</td><td>1st</td><td>17</td></tr> <tr><td>23</td><td>2nd</td><td>9</td></tr> <tr><td>24</td><td>3rd</td><td>6</td></tr> <tr><td>33</td><td>4th</td><td>15</td></tr> <tr><td>OT</td><td></td><td></td></tr> </table>	29	1st	17	23	2nd	9	24	3rd	6	33	4th	15	OT			チームB 大 曲 47 ●
29	1st	17															
23	2nd	9															
24	3rd	6															
33	4th	15															
OT																	

No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F	No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F
4	×	安 藤 千 遥	CAP	4	0	2	0	2	4	×	戸 村 ほのか	CAP	15	3	1	4	2
5	×	高 山 美 瑠		9	0	4	1	1	5	×	坂 本 麻 陽		16	0	7	2	3
6	/	目 黒 步 子		2	0	0	2	1	6	/	田 口 桃 瑚		0	0	0	0	0
7	×	近 藤 萌		24	0	11	2	1	7	/	橋 田 碧		2	0	1	0	1
8	×	長谷川 美 加		10	0	5	0	3	8	×	伊 藤 瑠 南		1	0	0	1	3
9	×	齊 藤 可 怜		7	1	2	0	0	9		小田嶋 美 希		-	-	-	-	-
10	/	浅 利 千 美		11	0	5	1	2	10		伊 藤 夕 真		-	-	-	-	-
11	/	小野寺 紅 美		9	1	3	0	1	11		斎 藤 梨 瑚		4	0	2	0	1
12	/	新 林 未 悠		3	1	0	0	0	12	/	草 彌 紗 良		4	0	2	0	1
13	/	奥 山 理 梨 佳		12	2	3	0	1	13	/	進 藤 凜		1	0	0	1	0
14	/	清 川 璃 子		8	0	3	2	2	14	×	伊 藤 萌		3	1	0	0	0
15	/	佐 渡 ほのか		2	0	1	0	0	15		鈴 木 花 弥		-	-	-	-	0
16	/	高 橋 優 南		4	0	2	0	0	16	×	高 橋 夏 音		5	1	0	2	1
17	/	藤 原 菜 花		4	0	2	0	1	17		橋 本 未 歩		-	-	-	-	-
18	/	佐々木 心 晴		0	0	0	0	1	18		照 井 花 音		-	-	-	-	-
19	/	畑 中 悠 奈		0	0	0	0	0	19		富 岡 咲 良		-	-	-	-	-
20	/	横 山 麻 衣 子		0	0	0	0	1					-	-	-	-	-
21		石 川 真 子		-	-	-	-	-					-	-	-	-	-
コーチ		樋 渡 真 希							コーチ		今 野 千 佳						
Aコーチ		加 藤 望 希							Aコーチ		高 橋 杏 奈						
合 計				109	5	43	8	17	合 計				47	5	11	10	11

※×:スター /:交代選手 PTS:ポイント 3P:3P\* インドシュート 2P:2P\* インドシュート FT:フリースロー F:ファウル

女子決勝は全県総体決勝と同一カード、湯沢翔北に大曲が挑む一戦となった。  
第1ピリオドは、お互いマンツーマンでスタートする。湯沢翔北が#5高山のゴール下シュートで先制する。その後もインサイドを起点に#5高山、#8長谷川が得点を重ねる。一方、大曲は#14伊藤(萌)、#4戸村の3Pなどでなんとか離されずについていこうとするが、湯沢翔北の厳しいディフェンスに対し得点を伸ばすことができず、リバウンドも支配されてしまう。湯沢翔北はインサイド、大曲はアウトサイドと得点の重ね方は対照的な展開となり、29-17と湯沢翔北がリードして第1ピリオドを終えた。  
第2ピリオドも湯沢翔北が#8長谷川のゴール下シュートで先制する。第1ピリオド同様ドライブからのレイアップやゴール下シュートで着実に加点していく。対する大曲はボールを回しドライブをしかけるが、湯沢翔北の厳しいディフェンスから得点を奪うことができない。流れを変えようとタイムアウトを取るも、湯沢翔北はさらにディフェンスの圧力を強め、大曲にシュートまで持っていかせず、リードを広げ、52-26で前半を終える。  
第3ピリオドも前半同様、湯沢翔北#7近藤のゴール下シュートで先制する。その後もインサイドにボールを集め、着実に得点を伸ばしていく。大曲は#5坂本のドライブから得点を狙うが、湯沢翔北の厳しいディフェンスを攻略できず、我慢の時間帯が続く。湯沢翔北はインサイドだけではなく、アウトサイドも高確率で決め、76-32とリードを広げて第3ピリオドを終えた。  
第4ピリオドは大曲が#5坂本のバスケットカウントで先制する。その後もゴール下シュートなどで反撃を試みるも、展開を速くした湯沢翔北のオフェンスに点差を広げられる。この日最大の50点差となったところで大曲はたまたまタイムアウトを取る。しかし、その後も湯沢翔北の厳しいディフェンスが続き、大曲は得点を奪えず、逆に速攻から失点を重ねてしまう。終始試合を優位に進めた湯沢翔北が109-47で10年連続18回目の優勝を果たし、ウインターカップ2018の出場権を獲得した。

文責 【 千田玲央奈(雄物川高) 】